

社協だより

# 福祉とさちょう

祝100号

平成30年12月発刊



100歳表彰を授賞された西村菊子さん

福祉とさちょうは、発刊100号となりました。昭和55年1月に発刊された第1号を復刻版として掲載いたします。

土佐町社会福祉協議会・ボランティアセンター

〒781-3401

土佐町土居 206 保健福祉センター内  
82-1067 82-1069 (FAX)

e-mail tosasameura@shirt.ocn.ne.jp



社協 facebook はこちらから→

# 第39回土佐町社会福祉大会

平成30年10月27日(土) 191人の参加を得て盛大に開催されました

## 大会宣言



大会宣言を読み上げる  
矢野友一 社協理事

町民が「ここにおいて良かった」と言える町になるために、行政と住民が相互に連携を図るとともに、土佐町地域福祉計画並びに第5次地域福祉活動計画を推進し、『ともに ささえ合う まちづくり』それが私たちの願いです。

福祉のまちづくりは、これまで先人が培ってきた地域の絆を改めて見直し、地域福祉活動を次世代に繋いでいくことが、大変重要となってまいりました。

本日第39回土佐町社会福祉大会に参加した私たちは、これまでの実践活動と経験をもとに保健、医療、福祉との連携を一層強めるとともに、すべての人々の基本的人権が尊重される、うるおいと活力に満ちた福祉のまちづくりを推進することをここに宣言します。



社会福祉活動表彰  
青年の部  
嶺北高等学校 3年生  
佐賀野 恋叶さん



ボランティア活動団体表彰  
NPO法人  
さめうらプロジェクトさん



表彰では、藤田信子さんと西村菊子さん(表紙写真)お二人が百歳のご長寿表彰を受けられ、引き続き、ご寄附をいただいた方々に感謝状を贈呈しました。

ボランティア活動表彰は、永年、ダム湖を活用した地域づくりや、若者の育成に貢献された、さめうらプロジェクト(代表 辻村幸生さん)障害を乗り越えながら活躍されている佐賀野恋叶さんが授賞されました。



### 〈大会の内容〉

- 土佐町の魅力を広めよう！手作りリーフレット大作戦 土佐町小学校4年生
- 職場体験学習発表 土佐町中学校2年生
- 土佐町PR動画制作を通して 土佐町中学校3年生
- しあわせを測ることは可能か 話題の幸福研究を紹介します  
国立大学法人高知大学 教育研究部総合科学系地域協働教育学部  
准教授 廣瀬 淳一先生
- 創作ダンス365日の紙飛行機&恋するフォーチュンクッキー SDC(早明浦ダンスクラブ)



## 参加者の声 アンケートより

- とてもすばらしい発表でした。子供たちの一生懸命な姿に感動しました。土佐町の歌もすばらしく、きっとこれからの土佐町を担っていただける子供たちだと確信しています。
- 郷土愛に満ちた楽しく可愛い発表でした。つかみから内容、歌での締めまでよくまとまっていた。今までの発表の中で一番好きです。
- 皆の努力が目に見えるようです。土佐町のアピールもしっかりしていて、とてもわかりやすかったです。発表の声も大きく聞きやすかったです。
- 気付きから広がる学習で、より子どもたちが積極的に考え、取り組むことができたと思う。手作りのリーフレット作り、そして手渡す時の練習など、丁寧になされていて、それぞれの力が発揮でき達成感を味わうことができたと思う。元気な発表で成長がうれしかった。
- 高知市内で初対面の人に声をかけるのは、勇気がいったことと思います。よく頑張っていたと感動しました。元気いっぱいさが大好感！！
- 土佐町は教育に力を入れています、ほんとうにすばらしい教育が出来ていると思います。あたえられるだけの教育ではなく、自らが学ぶ姿勢がすばらしい！教育は土佐町の未来ですね。
- 体験したことを、家で話をきいてあげてほしいです。学校の勉強ができるだけじゃ生きる力にはできないから。
- 職場体験で仕事の大変さと素晴らしさを感じたことと思います。この体験を通じて土佐町の産業や農業等を受け継いでいってほしいと思います。
- 子供たちらしく、いいアイデアですばらしいPR動画が出来ていました。すばらしい！！
- 中学生の考える地域貢献がすごすぎてびっくりしています。時代を感じながら見せていただきました！！
- 動画を制作するために、いろんな人とのかわりあいがあると思うがそのつながりができることがいいと思う。助けてくれたひとたちに感謝ですね。
- ダンスのみなさんが輝いていて素敵でした。はつらつとかわいくきれいで素敵でした。こんな素敵に歳を重ねたい。土佐町って幸せだなあと思える踊りです。
- 幸福度のお話、前向き楽観の言葉の様に自分自身で楽しみを見つけ、又些細なことにくよくよせず生きる。幸せを感じる時それが一番だと思う。
- しあわせのためには、健康であること、家族一同仲が良いこと、今を満足する近所との支え合い、1日1日を大切に生きることだと思う。



## 土佐町議会議員との意見交換会開催

11月22日（木）土佐町議会の皆様方と、社会福祉協議会の理事・監事との懇談会を実施しました。

川村雅士議長からは「土佐町の福祉活動は、あったかふれあいセンターやフィールド医学等との連携により県内外をみても先駆的な取り組みがなされている。地域を愛している住民の気持ちに議会としてどう答えていくのかが問われている。社協の皆さんが今後なお一層大きな力を発揮され、「福祉とは何か」を共に考えていきたい」とご挨拶がありました。



社協の役割について説明をしたあと、議員の皆様からは社協予算等について質問があり

- ・生活福祉資金の活用
- ・認知症の方と共に暮らす家族の負担や認知症の方ご本人の医療ケアの課題
- ・障害者支援B型作業所の課題
- ・地域福祉計画・活動計画の策定に向けた取り組み
- ・人口減少に伴う社協の予算

など、色々な意見が出されました。

制度の隙間にいる方々や、人口減少と共に深刻化していく地域の課題について、社協はしっかりと目を向けて取り組んでいかなければならないと感じました。

議会議員の皆様、本当に有難うございました。

# あったかふれあいセンター

今年もやります!!

平成31年2月23日(土)

## ☆あったかフェスティバル☆

11:00~14:00  
場所:あじさいホール

フェスティバルに向けて、地域や日頃の集いの紹介をする為に、皆さんがアイデアを出し合い楽しみながら準備しています。各地区の催し物や発表などをご覧頂き、楽しい時間を過ごして頂けたら幸いです。是非お越しください。お待ちしております♪



## ☆集いの様子☆

誰でも参加できます!  
お気軽にご参加ください~

### 地蔵寺

地蔵寺では、身体を動かして楽しむレクリエーションが人気です!最近では、参加者が県に申請をして補助金を頂き、ジョイントマットを購入。これからは転倒を怖がらず、思いっきりバレーが楽しめますね♪



ジョイントマット

さあ♪  
行くよお!

そ~れ♪



# 松ヶ丘



# かかし



※かかし

松ヶ丘ではかかしづくりに取り組んでいます。かかして松ヶ丘を盛りあげよう！という思いから始まりました。9月には徳島県三好市奥祖谷で作り方を学び、さっそく1体目が完成しようとしています。おたのしみに！



大石栄章さん

「松ヶ丘はこどもが減り、地域がなんとなくさみしくなってきた。人が集まり、景気づくりになれば…と思ったのがきっかけ。かかしの結婚式まで出来たらいいなあ★」



# 相川

相川では体操（椅子に座ってできる筋力トレーニング）を中心に、レクリエーションや手芸、おしゃべりなど楽しんでいます。10月は集いのアイドルわこちゃんと、輪投げをして楽しみ、午後からはエール薬局さんによるお薬についての講話がありました。学んだり、笑ったり・・・あっという間の1日でした！





# ボランティアセンター



## 一緒に活動しませんか？

### 手話サークル“ほのぼの”

「みんなが楽しく手話を通じて交流すること。障害がある、ないに関わらず誰に対しても相手を思いやるコミュニケーションの心構えを学びあう」この2つを大きな目的として、手話サークルを始めます。楽しくて、ためになる活動です！ぜひご参加ください!!

【開催日】第1、第3土曜日 ※変更あり

【時間】14:00~16:00

【年会費】500円（用紙代、切手代等）

【開催場所】土佐町保健福祉センター

※来年4月からはトキワ苑の部屋をお借りして開催します

### 土佐町（森郷） ミニ八十八ヶ所を楽しむ会

土佐町（森郷）ミニ八十八ヶ所を楽しむ会が発足しました。地域の文化伝承と健康増進を目的として楽しみながら活動しています。歴史や健康に興味のある方、一緒に楽しみませんか？

【開催日】不定期

【年会費】300円（用紙代、切手代等）

【活動内容】

- ・森郷ミニ八十八ヶ所巡りウォーキング
- ・石仏周辺整備

※会員同士が話し合いながら活動を進めていきます



## 講座のお知らせ

### ～介助ボランティア養成講座～

ちょっとしたコツで  
生活や介助が軽減される!!

外出する時やちょっとしたお手伝い、もしもの災害時にも役立つ安全な介助の仕方や、グッズを紹介します。ひやりハット！家族やご自身の生活にきっと役立つ講座となっています。ぜひご参加ください。

【日時】平成31年 1月29日（火）

18:30~20:30

【場所】土佐町保健福祉センター

【講師】トキワ苑

井手 正 氏

【対象者】関心のある方ならどなたでも

参加費  
無料

### ～傾聴ボランティア養成講座～

参加費  
無料

家庭や地域、職場できっと役に立つ!!  
はなしの聞き方教室

「①話を最後まで聞く」「②責めない！相手も自分も！」2つの聞き方を意識することをテーマに講座を開催します。もっと上手に聞けるようになりたい。思っている事を上手に話したい。そんな方にお勧めの講座です。

【日時】平成31年 1月19日（土）

13:30~15:30

【場所】土佐町立図書館横 多目的ホール

【講師】NPO 法人井戸端わもん

川窪 財 氏（心聞士）

【対象者】関心のある方ならどなたでも

# 第5次 地域福祉活動計画

旧小学校区を地域の単位として、自分達の住む地域をより良く、より豊かにするために第5次地域福祉活動計画を策定し、社協は各地域の取り組みをサポートしています。

それぞれの地域で立てた活動目標の達成に向けて話し合い、協力しながら取り組みが進んでいます。

第5次計画の期間満了まで



# 1年

あまりとなりました



南川小学校区  
「百万遍祭を盛り上げよう」



相川小学校区「旧相川小を中心とした地域づくりをすすめよう」



瀬戸小学校区「健康で生きがいのある生活ができる地域にしよう」



平石小学校区  
「学校の活用について考えていこう」



松ヶ丘小学校区「松ヶ丘会館を中心に3地区の交流を促進しよう」

他の地域でも様々な活動が展開されています☆



## 推進懇談会を開催します！



第5次地域福祉活動計画が「絵に描いた餅」にならないよう、活動計画推進懇談会を各地域で毎年開催しています。

懇談会では、活動目標の進捗状況や達成度の確認、次年度の取り組みについて話し合います。

今年度も、1～2月に懇談会を開催します。

告知端末放送でもお知らせをいたしますので、自分達の住む地域の取り組みについて話し合う機会に是非ご参加ください。



小学校区	目標達成度(%)				
	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
石原	70	80	80		
地藏寺	75	70	68		
平石	50	75	80		
相川	10	40	50		
森	53	62	57		
和田	60	70	75		
松ヶ丘	50	65	70		
田井	60	68	72		
瀬戸	35	45	50		
南川	85	90	90		

※この表は各地域それぞれで活動目標に対する達成度を表したものです。他地域と比較をするためではなく、話し合いで自分達の地域活動を振り返り数値にすることで評価を可視化することを目的としています。

# 経済的に苦しい・・・



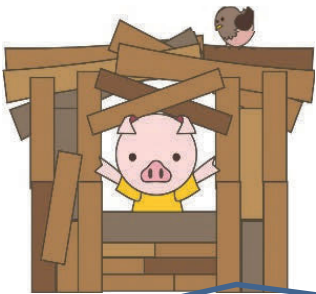
## 生活に困っている

住民税とか国保料とか水道、電気、電話代請求書が次から次へと届く。。。NHKも払わないかのやろうか？ お米はあるけど、おかずどうしよう？ 仕事もせないかのやろうけど、どこへ行ったら仕事もらえるろう。。。どうしようかなあ～



社協へ相談してみや。

困っちゃう事を話したら、せんといかん事、できる事を一緒に考えて、生活の立て直しに協力してくれると～



嶺北地域の求人を紹介しています。

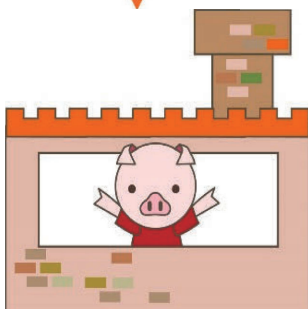
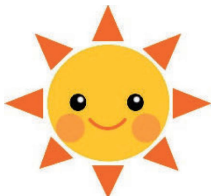
ハローワークさんと協力して仕事に就くための応援をします。

「食べる物が無い」と緊急性がある場合にはフードバンクを活用し、食料支援対応もしています。

仕事しゅけど、何かお金が足らん。。。なんでやろう???



月々のお金のやりくりが上手にできるように見てくれたり、借金や滞納料金の整理や返す方法を一緒に考えてくれると～



## あなたらしい自立した生活へ

お金の使い方はご本人やご家族の生き方、ご家族との関係性にも関わってくることです。

しんどい生活をしたい人はいないですよ、そこから抜け出せる方法が何かあるはず。一緒に考えていきましょう。



## 住民の「見守り役」「身近な相談相手」

「専門機関へのつなぎ役」として、

## 〈民生委員・児童委員・主任児童委員〉

### 民生委員・児童委員とは

民生委員・児童委員は地域住民の中から選ばれ、自らも住民の一員という性格をもって、住民の見守りや相談活動を行います（担当区域をもって活動します）。

- 民生委員は厚生労働大臣から委嘱された非常勤の地方公務員です。民生委員は、児童福祉法に定める児童委員を兼ねています。
- 任期は3年で、再任も可能です。
- 無給のボランティアとして活動します。（活動に必要な電話代等に充てる実費弁償費の支給があります。）

### 主任児童委員とは

主任児童委員は、子どもや子育て家庭への支援を専門に担当する民生委員・児童委員です（担当区域はもちません）。

- 児童福祉関係機関と区域担当民生委員・児童委員との連絡役となって、協力して活動を行います。

民生委員・児童委員、  
主任児童委員は

民生委員児童委員協議会に所属し、仲間と共に活動を行います。

- すべての民生委員・児童委員は、「民生委員児童委員協議会」（通称：民児協）に所属して活動しています。
- 民児協は、その地域のすべての民生委員・児童委員によって構成され、自主的に運営されます。
- 民児協では、委員それぞれの活動を通じて把握する地域の課題を共有し、対応方法について検討したり、委員同士の学習の場として研修を実施したりします。
- 一人ひとりの民生委員・児童委員を組織としての民児協が支え、さらには民児協として関係機関・団体と協力して地域福祉の推進に取り組んでいます。

土佐町社会福祉協議会・ボランティアセンターは、  
支え合い活動を応援しています。



子ども

げんき村



子どもたちは土佐町の未来・宝です。  
みんなで見守り育てていきたいという思いから、  
子どもげんき村をつくりました  
子どもげんき村は、子どもたちがあたたかい見守りの中で安心して遊べる場所  
料理を通じて楽しく食べることを学ぶ場所  
自分たちにできることをさがして、  
ボランティア活動ができる場所  
そして……子育て中のパパやママたちも  
ホッとできる場所

## ♥活動

- ❖ 子どもげんき村は、子どもたちや保護者のみなさんが気軽に集える場所です。
- ❖ 毎月第1日曜日の10時から14時まで開催しています。出入り自由です。
- ❖ お子さんだけで参加もOKです。
- ❖ 子どもたちの遊びを見守ります。
- ❖ 食材を寄附してもらうなどして料理をつくり、みんなで楽しく食事をしています。(無料)
- ❖ 子どもげんき村運営協議会で運営しています。
- ❖ 土佐町社協にボランティア団体として登録しています。
- ❖ 「子ども食堂」として高知県に登録しています。



## ♥会員になってください。

個人会員 年 500円  
団体・企業会員 年 5,000円  
\*団体・団体名を子どもげんき村の  
広報ちらしに掲載させていただきます。

場所  
〒781-3521  
高知県土佐郡土佐町田井1445-1  
田井分団消防屯所 隣  
デイサービス元気村 1階フロア

運営協議会代表 川村治子





# ひよこぐみ写真館



にしむら  
**田井 西村** **想絆**くん

平成30年2月28日生まれ

パパ **健** さん

ママ **香織** さん



りゅうあ  
**琉愛**くん

ゆきと  
**伴音**くん

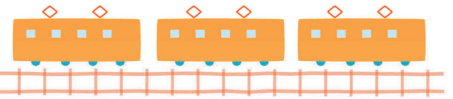
れいり  
**零恋**くん

お  
**想絆**くん

3人のお兄ちゃんと仲良くなーれ♥元気

いっぱいスクスク大きくなーれ！！

家族みんなが想絆が大好きだよー♥



もい  
**白石 森** **みきこ**  
**三希子** ちゃん

平成30年3月8日生まれ

パパ **上** さん  
ママ **智美** さん

まゆこ  
**方佑子** ちゃん

のぶひで  
**信榮** くん

しゅんすけ  
**俊輔** くん

ちか  
**千珂** ちゃん



みきこ  
**三希子** ちゃん

大きくなったら一緒に遊ぼうね。

大好き♥

お姉ちゃん、お兄ちゃんより

# 社協への福祉のご寄附

自：H30. 7. 1

至：H30. 10. 31

地区名	氏名	金額	備考
下地蔵寺	西村郁也様	50,000	香典返し
栗木	近藤政雄様	100,000	香典返し
上野	川村盛昭様	100,000	香典返し
東石原	山下秀雄様	100,000	香典返し
下瀬戸	岡林増栄様	50,000	香典返し
	匿名様	米60Kg	老人給食等
上野上	大久保公史様	米30Kg	老人給食等
	匿名様	米60Kg	老人給食等

以上の方々からあたたかいご寄附をいただきました。ありがとうございました。



赤い羽根は小さなことをしています。

## 赤い羽根共同募金



10月1日から12月31日までの共同募金活動では、皆様のご支援・ご協力をいただき厚く御礼申し上げます。皆様からお寄せいただいた今年度の募金は平成31年度の土佐町の福祉活動費として配分されます。老人給食の経費やボランティア活動支援費として活用しています。

「じぶんの町をよくするしくみ」赤い羽根共同募金へのご理解をお願いします。

共同募金会土佐町支会 会長 和田守也

みんなの **きもち** を  
あなたの町に



地域で集めた募金は、集めた地域で使われています。

土佐町で集めた募金の約70%は、土佐町で使われています。30%は住んでいる市町村を超えた広域的な課題を解決するための活動に、都道府県の範囲内で使われています。

都道府県の共同募金会では、募金額の一部を「災害等準備金」として積み立てています。大規模災害が起こった際、災害ボランティア活動支援など、被災地を応援するために使われています。